

Racing Topics

★中央競馬ニュース 文・谷川善久★

●安田記念は連闘のモズアスコットが優勝

6月3日(日)に行われた安田記念(G I)ではモズアスコット(牡4歳/栗東・矢作芳人厩舎)が優勝、重賞初制覇をG Iの舞台で飾りました。勝ちタイム1分31秒3は2012年安田記念でストロングリターンが記録した時計と並ぶコースレコードタイ。モズアスコットは5月27日(日)の安土城S(2着)から連闘での出走で、連闘馬によるG I勝利は1989年安田記念のバンブーメモリー、1998年阪神3歳牝馬Sのスティンガーに続いて、20年ぶり3頭目のこととなります(グレード制が導入された1984年以降)。

●レインボーラインらの競走馬登録抹消

2018年天皇賞(春)(G I)などの勝ち馬レインボーライン(牡5歳/栗東・浅見秀一厩舎/JRA通算22戦5勝)は、右前脛部浅屈腱不全断裂と診断され、6月6日(水)付で競走馬登録を抹消されました。今後は北海道新冠町の優駿スタリオンステーションで種牡馬となる予定です。また2017年函館2歳S(G III)の勝ち馬カシアス(牡3歳/栗東・清水久詞厩舎/JRA通算8戦2勝)、2014年平安S(G III)などの勝ち馬クリノスターオー(牡8歳/栗東・高橋義忠厩舎/JRA通算26戦7勝・地方8戦0勝・海外1戦0勝)、2016年佐賀記念(佐賀・Jpn III)などの勝ち馬ストロングサウザー(牡7歳/美浦・久保田貴士厩舎/JRA通算28戦6勝・地方7戦2勝)、2016年京王杯2歳S(G II)の勝ち馬モンドキャンノ(牡4歳/栗東・安田隆行厩舎/JRA通算10戦2勝)、2015・2016年オーバルスプリント(浦和・Jpn III)などの勝ち馬レーザーバレット(牡10歳/美浦・萩原清厩舎/JRA通算23戦7勝・地方16戦3勝・海外1戦0勝)も、6月6日(水)までに競走馬登録を抹消されました。カシアスはオーストラリア、ストロングサウザーは地方・盛岡競馬に移籍し、クリノスターオーは北海道浦河町のJRA日高育成牧場で乗馬、モンドキャンノは北海道新冠町のクラックステーブルで種牡馬となる予定。レーザーバレットは乗馬となる予定ですが繋養先は未定です。

★地方競馬ニュース 文・宇田川淳★

●北海道スプリントC(門別)でテーオーヘリオスが重賞初制覇

北海道スプリントC(Jpn III、6月7日、門別、1200m)は、4～5番手を進んだテーオーヘリオス(浜中俊騎手、牡6歳、父フサイチペガサス)が、先に抜け出した3番人気のラブバレット(岩手)を残り100mを切った辺りで内から捉え、1番人気に応えました。スノードラゴンが3着に入り、2番人気の昨年の覇者ニシケンモノノフは4着、コパノマイケルは6着でした。

●東京ダービーはハセノパイロ(船橋)【各地の主要3歳重賞】

東京ダービー(6月6日、大井、2000m)は、5番手から4コーナーで先頭に立った2番人気のハセノパイロ(牡、父パイロ)が接戦を制し、1番人気のヤマノファイトは7着に敗れました。北斗盃(5月30日、門別、1600m)は、2番手から3コーナー過ぎに先頭に立った1番人気のサザンヴィグラス(牡、父サウスヴィグラス)が、7馬身差の圧勝を取めています。

●ララブリムヴェールが有力、6月13日の関東オークス(川崎)

関東オークス(Jpn II、3歳牝馬、6月13日、川崎、2100m)は、ダート1800mで2連勝中のララブリムヴェールが筆頭格、以下メイショウヒサカタ、プリンセスノンコ、ハービンマオ、ゴールドパテック(川崎)の順に有力視されます。

★海外競馬ニュース 文・秋山響★

●G 1英ダービー～日本産馬サクソンウォリアーは4着

英国最高賞金(総賞金150万ポンド=約2億2800万円/1ポンド152円で換算)を誇るG 1英ダービー(芝1200m)が6月2日にエプソム競馬場で行われました。1番人気(単勝1.8倍)には日本生まれのディーブインパクト産駒で、G 1英2000ギニーからの英二冠を狙ったサクソンウォリアーが推されましたが、中団から伸び切れず4着。勝ったのはG 1英2000ギニー3着から臨んだマサー(牡3歳、父ニューアプローチ)で、G 1初制覇をクラシックで飾りました。W. ビュイック騎手、C. アップルビー調教師、そしてドバイのモハメド殿下が率いるゴドルフィンはいずれも英ダービー初制覇です。

●G 1仏ダービー～ディーブインパクト産駒スタディオブマンが制す

6月3日にシャンティイ競馬場で行われたG 1仏ダービー(芝2100m)は、ディーブインパクトを父に持つ愛国産馬スタディオブマン(牡3歳)が中団待機から直線で抜け出して半馬身差で優勝しました。スタディオブマンはJRAで4勝をあげたマンボネフェー(父バゴ)の半弟。前走5月のG 2グレフェール賞(芝2100m)で重賞初制覇を果たしていました。鞍上のS. パスキエ騎手はこのレース初勝利。管理するP. バリー調教師は6勝目となりました。